

○令和5年9月4日～6日 総合防災対策特別委員会の県外行政視察を行いました。

総合防災対策特別委員会では、「地域における防災力の強化について」及び「地震・津波対策とため池の防災対策について」を調査事項として、岡山県、広島県、熊本県において5カ所の視察を行い、事業概要について説明を受けるとともに、質疑や施設等の視察を行いました。

番号	視察箇所	場所	調査内容
①	小田川合流点付替え事業	岡山県倉敷市	平成30年7月豪雨により、堤防の決壊などの甚大な被害が発生した倉敷市真備町の被災状況や小田川合流点付替え事業をはじめとする「真備緊急治水対策プロジェクト」の経緯・進捗状況等について説明を受け、質疑を行った後、現場を視察しました。
②	大池	広島県尾道市	広島県における農業用ため池の概要とため池を取り巻く環境の変化、平成30年7月豪雨により被災した大池の状況及び応急対応をはじめとした災害復旧事業について説明を受けながら、復旧現場を視察し、質疑を行いました。
③	303溪流砂防堰堤	広島県広島市	平成26年8月20日豪雨により、甚大な被害が発生した広島市安佐南区の土砂災害の状況と復旧状況、砂防堰堤の整備の進捗や出前講座・広報をはじめとしたソフト面での対策等について説明を受け、復旧現場を視察しながら、質疑を行いました。
④	広島市豪雨災害伝承館	広島県広島市	平成26年8月20日豪雨の記憶を教訓として次の世代に継承することを目的に、令和5年9月にオープンした「広島市豪雨災害伝承館」において、説明者から展示パネルや土砂災害の再現CG、被災者の証言映像等を基に、被災の状況等について説明を受けながら、質疑を行いました。
⑤	熊本県防災センター	熊本県熊本市	平成28年の熊本地震をきっかけに、令和2年度から熊本県が整備を進め、令和5年5月に開所した「熊本県防災センター」において、熊本地震や令和2年7月豪雨の対応状況及びセンターのコンセプト等について説明を受け、質疑を行った後、センター内を視察しました。



① 小田川合流点付替え事業



② 大池



③ 303溪流砂防堰堤



④ 広島市豪雨災害伝承館



⑤ 熊本県防災センター